

～歴史風情あふれる中国地方へ～



サミット宣言を掲げる7都市の市長・町長

中国地方初の歴史まちづくりサミットを 山口県萩市で開催！

「中国地方歴史まちづくりサミット」を平成25年11月11日（月）に中国地方整備局と萩市の主催により、山口県萩市で開催しました。

歴史まちづくりに取り組む7都市（萩市・津山市・高梁市・松江市・尾道市・竹原市・津和野町）の市長・町長が一堂に会し、北海道大学大学院の越澤教授による基調講演、7都市の市長・町長によるパネルディスカッションを実施。

サミットの最後には、都市の連携による歴史まちづくりの発展と中国地方の地域活性化に向けた「サミット宣言」を採択しました。



■中国地方歴史まちづくりサミットの概要(1/2)

1. 開会挨拶



栗田中国地方整備局長
による主催者挨拶



野村萩市長による
主催者挨拶



山口県産業戦略本部 弘中副本部長
による来賓挨拶(山口県知事代理)

2. 歴史まちづくりの最近の状況について

歴史まちづくりを進める都市が全国で増加していること、その中では中国地方の都市が多いこと、また、歴史まちづくりを進める都市の具体的な取組状況や、国の支援により実施した歴史的建造物維持に係る調査の概要等について報告がありました。



国土交通省 都市局 公園緑地・景観課
舟引課長による報告



会場の様子

3. 基調講演 「成果が現れた歴史まちづくり法」

歴史まちづくり法が制定されるまでの経緯、法が制定されてから近年までの全国での取り組みや展開についてご講演をいただきました。

特に、歴史まちづくり法の成果については、実際の都市における事例や写真等を交えてご紹介いただきました。



北海道大学大学院 工学研究院 越澤教授による基調講演



■中国地方歴史まちづくりサミットの概要(2/2)

4. パネルディスカッション

越澤教授をコーディネーター、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の認定を受けた7都市の市長・町長、中国地方整備局長をパネラーに迎え、「歴史まちづくりの成果と中国地方の歴史まちづくりの今後」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

パネラー：(左から)近藤 隆則 高梁市長、松浦 正敬 松江市長、平谷 祐宏 尾道市長、小坂 政司 竹原市長、下森 博之 津和野町長、宮地 昭範 津山市長、野村 興兒 萩市長、栗田 悟 中国地方整備局長

《市長・町長からの主な意見》

- ・我々の都市は東京には無い大切な資源を持っている。その資源を活かしたまちづくりが必要。
- ・歴史まちづくり法ができたことでまちなみ整備は進んでいる。
- ・一方で歴史的建造物や伝統芸能等の維持が困難となっている。
- ・そのため、歴史まちづくりをさらに進めていく上では、引き続き国の支援が必要。

《栗田局長のコメント》

- ・中国地方整備局では河川整備や道の駅整備をはじめ、市町で行う歴史まちづくりを支援する様々なツールを持っている。
- ・組織内で縦割りになることなく、市町を総合的に支援していきたいので、遠慮なく相談してほしい。

《越澤教授によるまとめ》

- ・今回のディスカッションを通じ、歴史まちづくりの流れができてきていると感じるところ。このサミットを1つの節目としてさらにまちづくりが進むよう頑張りたい。

5. サミット宣言

「7都市が先頭に立って中国地方の歴史まちづくりを牽引していくこと」、「観光・地場産業も含めて連携してアピールを行っていくこと」などを宣言しました。



サミット宣言を7都市の市長・町長連名で採択し、萩市長より発表

6. 閉会挨拶



高橋中国地方整備副局長による閉会挨拶

当日は約100名の方にご参加頂きありがとうございました。

中国地方整備局は、今回のサミットを契機に7都市をはじめとした市町村と連携を強化し、中国地方の歴史まちづくりを一層進めていきます。

【問合せ先】

中国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課

TEL : 082-221-9231 (代)

中国地方歴史まちづくりサミット サミット宣言

平成20年に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」が公布・施行されてから5年が経過した。

同法に基づく「歴史的風致維持向上計画」は、これまで全国38都市、このうち中国地方においては7都市の計画が認定されている。

この度、この7都市（萩市・津山市・高梁市・松江市・尾道市・竹原市・津和野町）の市長・町長が初めて一堂に会し、意見交換を行ったことは大変喜ばしく、また意義深いものであり、記念してここにサミット宣言を行う。

< 宣言 >

21世紀の成熟社会を迎えた我が国では、400年以上の歴史を持った地方都市が各地に存在している。この中国地方においてもそのような地方都市が数多く存在していることを誇りに思う。

一方、中国地方の各都市が有する歴史と文化の価値は外部からも評価されてきており、この地域のまちづくりを一層質の高いものとするため、力を合わせて以下の取り組みを一層推進していく。

- 一. 中国地方においては、ここに集まった7都市が先頭に立ち、歴史と文化のまちづくりを牽引していく。
- 二. 今後新たに「歴史的風致維持向上計画」の認定を受ける都市や、その他様々な形での歴史・文化のまちづくりへの取り組みを意欲的に行う都市とも、連携を深めていく。
- 三. 国土交通省・文化庁・農林水産省が連携した歴史まちづくり法の意義は大きく、今後も国においては、観光・地場産業等も含め、一層省庁間の連携を進めることを期待する。
- 四. 本サミット以降も、歴史と文化のまちづくりや、観光・地場産業等について、引き続きアピールを行っていく。

平成25年11月11日

萩市長

野村典之

津山市長

宮地昭範

高梁市長

近藤隆則

松江市長

松浦正敬

尾道市長

松本祐宏

竹原市長

山根政司

津和野町長

下森博之